

冬のラリーに参加しよう！

ラリー当日のスタートまでの簡単な流れです。

出発

天候等により移動時間も変わってきます。余裕を持って出発し、安全運転で移動しましょう。（ラリーの朝は早いです）

会場到着

ラリー会場に到着したらサービスパークに車両を止めましょう。

参加確認

指定の時間になったら受付窓口で参加確認をして、ゼッケンやロードブックなどを受け取りましょう。
免許証、互助会カード、車検証、自賠責保険証は必ず持っています。ドライバー・コドライバーの二人で行きましょう。

場所：新千歳ML・ユニットハウス 受付
時間：5時45分～6時15分

レッキ

参加確認が終わり次第レッキをします。
指定の制限速度を守り、コースの下見を行いましょ。
（このレッキの際にペースノートを作ります）

時間：6時45分～7時30分

レッキ指示書で示されるレッキスケジュールに従って走行します。参加確認の際に渡されるロードブック最初のページにレッキ指示書が入っていますので、ドライバー・コドライバーの両方が署名しておきましょう。SSの入口にオフィシャルがいますのでレッキ指示書にチェックしてもらい各SSのレッキをします。

走行準備

レッキが終わったら、車内の下ろせる荷物は全て下ろし走行準備をしましょう。車内の小物などをそのままにしておくこと全開走行中に飛んできたりする事も有り大変危険です。

車検

オフィシャルが車両の安全確認等を行います。ボンネットを開け、ヘルメットやグローブなども見える場所に用意しておきましょう。（バッテリーターミナルやオイルキャップ等にテープを貼っておくとよいです）
車検証/自賠責保険証も見える場所に用意しておきましょう。

公式車輛検査

場所：新千歳ML・サービスパーク

時間：8時00分～9時10分

車両の走行準備が終わり次第、
車検を行います。

クローズドブリーフィングは7時40分～競技説明を行います。
注意事項やその他のお知らせはどうするの？

→各種お知らせ・指示事項は、全て公式通知にて対応します。
その公式通知が有る場所は…ユニットハウス前の公式掲示板に貼り出されます。Webによる配信もあります。

掲示時間：5時30分～表彰式終了時まで。

スタートリストの公示

場所：公式掲示板及びWeb配信

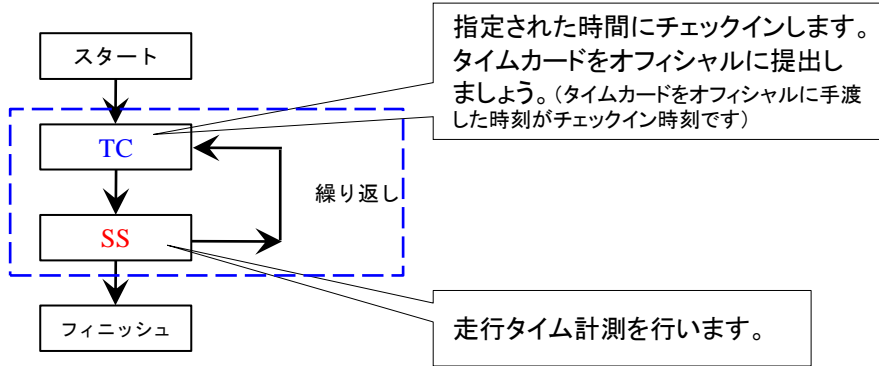
時間：9時25分

当日のゼッケン毎のスタートの時間が公示されます。

自分のゼッケンとスタート時間を確認しておきましょう！

ラリー競技の大まかな流れとしては、

TC (タイムコントロール) で指定時間に通過確認を行い、
SS (スペシャルステージ) で走行タイムを競います。
TC→SS→TC→SSを繰り返していきます (途中時間調整あり)



タイムカードの記入例

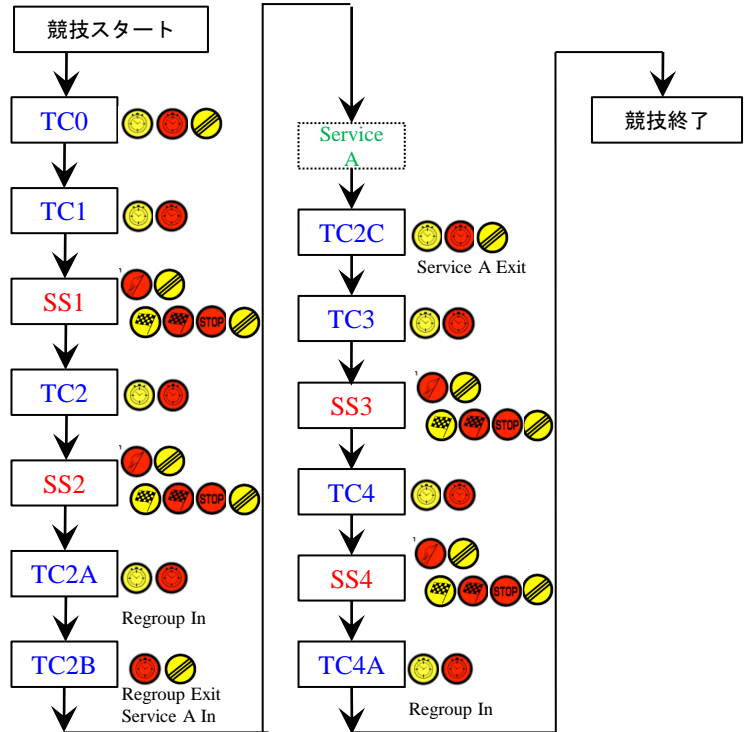
タイムカードには選手記入欄という網掛けのマスの部分に記入します。それ以外は各チェックのオフィシャルが時刻を記入しサインをします。

10時07分+7分=10時14分より、次のTCの到着予定時刻は10時14分となります。この到着予定時刻に次のTCでチェックを受けましょう。

例えば10時17分にスタートし、ターゲットタイムが3分後とすると、次のTC2Aのチェックイン時刻は…? (正解 10:24)

TCでタイムカードを渡した時刻 (チェックイン時刻) を記入してもらいます。選手記入欄にターゲットタイムを加えた時刻を記入し、次の到着予定時刻を計算して時間どおりにチェックを受けましょう。

当日のラリー全体の流れとしては、以下のようなイメージになり、TC~SSを繰り返すことでラリーが進行していきます。次ページ以降にTCやSSの簡単な説明があります。



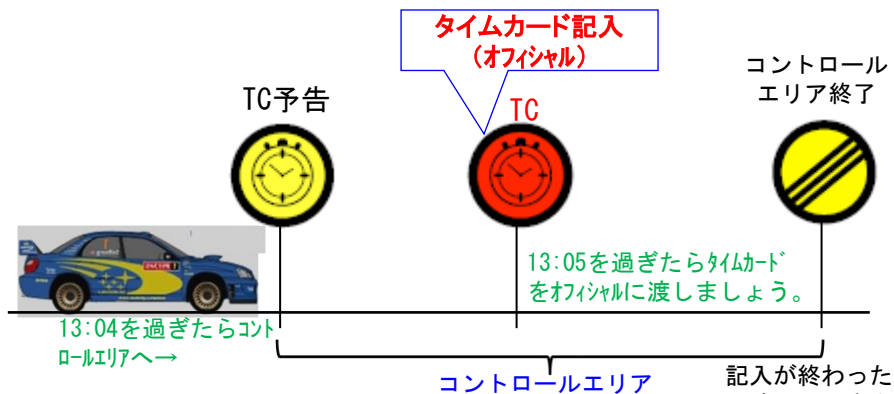
CROに聞こう! CRO: Competitor Relation Officerの略

CROは競技中に起こるいろいろな出来事について、エントラントと主催者の間に立って動いてくれます。競技でわからないこと、タイムや処置について疑問に思ったことなど、会場内で黄色いタバードを着ているので、気軽に質問や意見を言ってくださいね。見当たらないときの連絡先は公式通知で確認できます。

スタートリストで確認した自分ゼッケンのチェック時間に
合わせてTCに向かいましょう。

TC

Time Controlの略。ラリーのルート上に設けられ、競技車の通過を確認する関所のような地点で、到着した時刻をチェックします。



TCでは、進入時にルールがあります。

TCの前後は**コントロールエリア**と言われ**TC予定時刻の1分前でない**と**進入できません**。また、コントロールエリアはパルクフェルメとなりますので車の整備行為は禁止となります。TCへの**TCカード提出時間は到着予定時刻の00秒~59秒まで**となります。

早着の場合：1分早着につき1分のペナルティ

遅着の場合：1分遅着につき10秒のペナルティ

コントロールエリアへ早く入った場合：審査委員会判断

例) 到着時刻が13:05と指定されている場合…

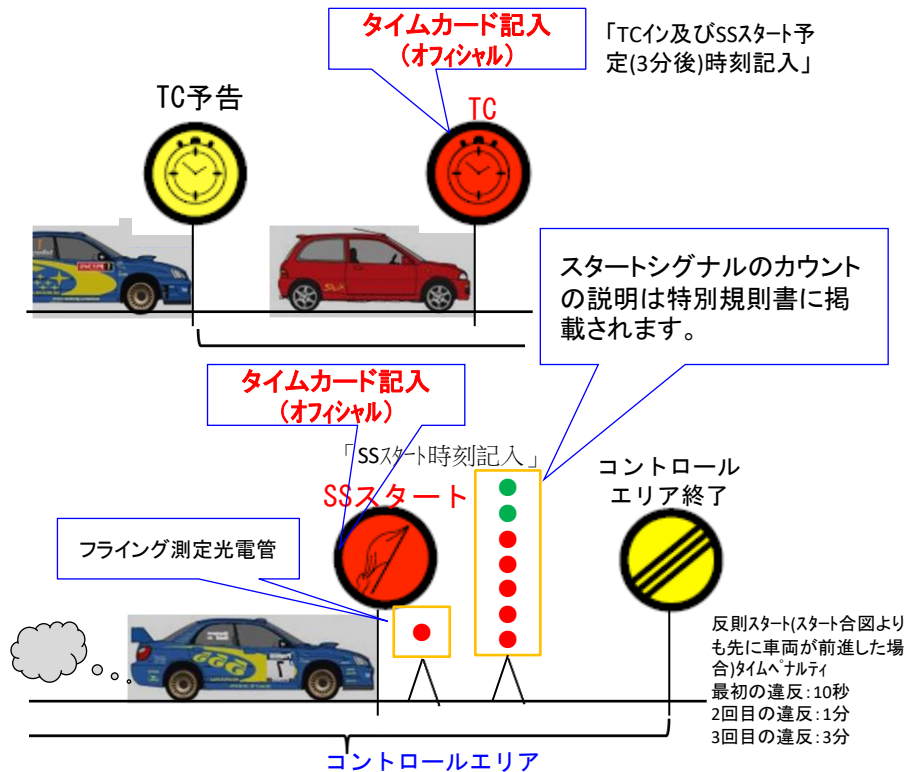
コントロールエリアに**進入できるのは1分前**からなので、13:04を過ぎてからTCの予告看板●を通過し、**13:05:00~13:05:59**以内にTC●のオフィシャルにカードを渡しタイムの記入をしてもらいます。

TCには電波時計が設置されていますので、タイムカード提出時にはその時計で時間の確認をしてください。

TC後にSSのスタートがある場合もTCのルールや手順は同じです。TC通過後にスタートでチェックしてSS区間に入ります。

SS

Special Stageの略。競技中のタイムトライアル区間のことです。前述のTCを通過した後に、このタイムトライアル区間を走行します。

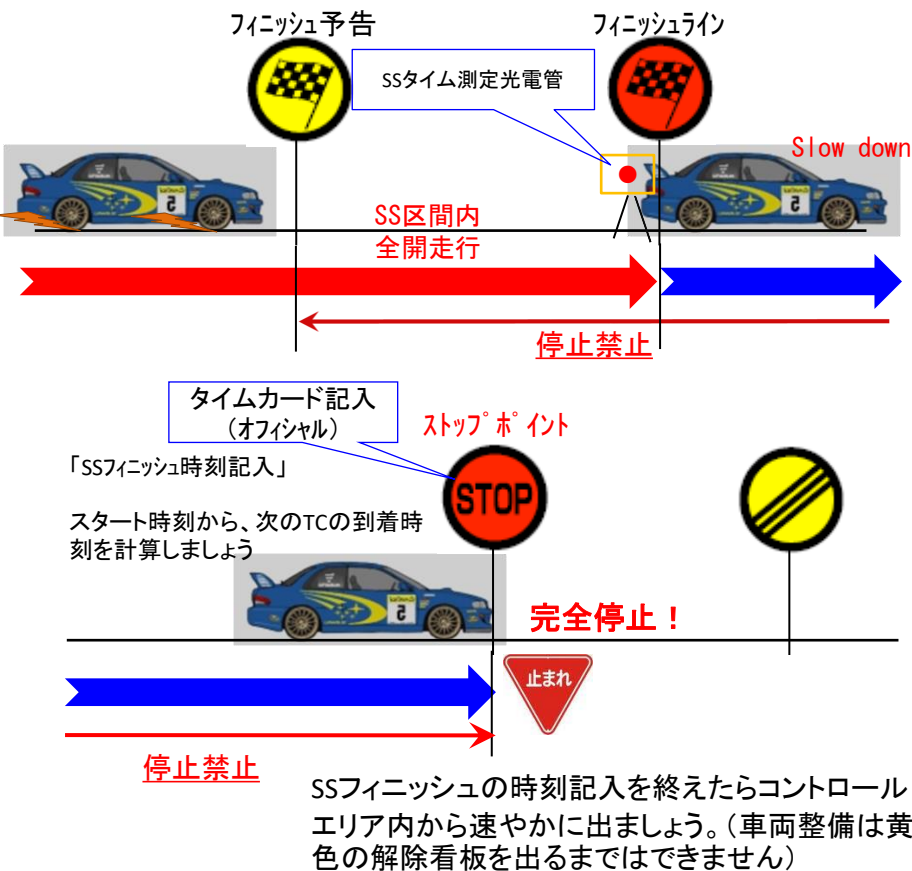


TCのタイムカード記入が終わったら、スタートへと車を進めます。ここで正式なSSのスタート時刻が告げられSSスタートとなります。スタートシグナルのカウンター方法は特別規則書に掲載されます。

続いて、タイムトライアル区間を走行し、SSのフィニッシュライン通過後のチェック（ストップ）です。

FF

Flying Finishの略。各SSに定められたフィニッシュライン＝タイム計測地点は止まらず、通過するためにこう呼ばれます。ここからタイムの記入等を行なうストップポイントまでは、安全の為に停車が禁じられます



もしもSS（スペシャルステージ）内で何らかのトラブルが発生して車両が止まってしまった時には…

例）コース脇にはみ出してスタックして脱出不可能な場合など

そんな場合には後続車に「この先に車が止まっていて危ないよ！」という事を知らせましょう！

■ コース幅は狭いが何とか通過できる場合

①車に積んでいる三角停止板のうち少なくとも1枚を、停止車両から50m以上手前（後続車両が見やすい場所）に立てます。その位置は原則として停止している車両と同じ側です。

②ジェスチャーで後続車に停止車両の存在を知らせましょう。1名が身振りにより安全な速度で通過するようにアピールし、もう1名は『OK』サインを後続の全車に提示します。車から出て、コースの外など安全な場所に立ちます。



■ コースを完全に塞いでしまい後続車が通行できない場合。

手を大きく横に広げる等で、通行できない旨を後続車両に知らせます。

■ 負傷者がいる又は火災発生のため救助が必要な場合。

負傷者又は火災が発生し救助が必要な場合には『SOS』サインを提示します。

『OK』・『SOS』サインは車両に搭載することになっています。

